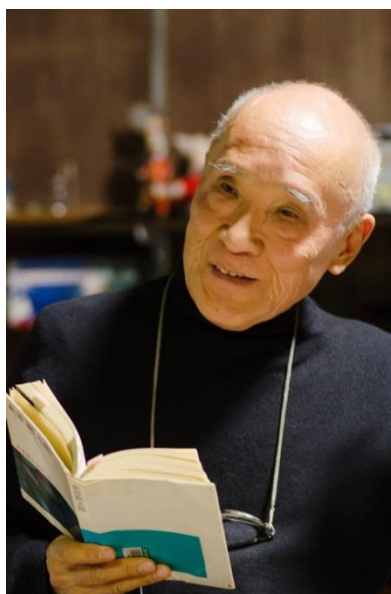


中央図書館開館30周年記念
谷川俊太郎氏トークショー

詩
絵本
言葉
図書館…



日時：
平成27年2月22日(日)
午後2～4時

会場：
東大和市立中央公民館
ホール

共催：
東大和市立中央図書館
東大和の図書館を考える会

©深堀瑞穂

「谷川さんにきいてみよう！」

東大和市立中央図書館開館30周年を記念して、平成27年2月22日(日)に、詩人の谷川俊太郎氏をお招きして、トークショー「谷川さんにきいてみよう！」を開催しました。

当日は、あいにくの曇り空でしたが、会場の中央公民館ホールは、420名様のお客様で満席となりました。

午後2時、尾崎保夫市長のあいさつの後、谷川さんが作詞された東大和市立第五小学校の校歌を、五小の子どもたち25人が、

高野校長先生の指揮で元気いっぱいに歌ってくれました。



五小の校歌を歌う子どもたち

校歌を聴いた谷川さんが「いい歌だねえ。」としみじみ。緊張感に包まれていた会場が一変して、なごやかな雰囲気になりました。

子どもたちは歌い終わったあと、谷川さんを囲んで記念写真をとり、谷川さんと握手をしました。子どもたちにとって、良い思い出になったのではないのでしょうか。

初めて聴かれたかたも多かったことと思いますが、配布したパンフレットに歌詞と楽譜を載せましたので、一緒に谷川さんの詞を味わっていただけたかと思います。



トークショー風景

舞台転換の後、お待ちかねのトークショーが始まりました。

今回のトークショーは、台本のようなものは特になく、各人が用意した質問を大きなカードに貼り、谷川さんに選んで答えていただくという形式だったので、舞台上の聞き手はかなり緊張していたようです。

三人三様の質問を、谷川さんは当意即妙にユーモアをまじえて楽しくお答えくださり、緊張して進行がうまくいかないところも谷川さんがフォローしてくださって、なごやかに進んでいきました。

東日本大震災の後に新聞に掲載した「言葉」という詩。そして、掲載を見送った「シヴァ」という詩。二つの詩を続けて朗読してくださり、当時の状況やこの詩を作るにあたっての思いなども語っていただきました。

また、谷川さんの絵本の中から、聞き手のお子さんが大好きだという「ぼばーべびぱっぷ」(おかざき けんじろう絵)を、スクリーンに絵を映しながら読んでいただきました。「これは、読むのが難しいんだよね〜。」とおっしゃりながら、ぱ行の音だけで構成されたちょっと不思議な絵本の楽しさを伝えていただきました。

このシリーズは、先に描かれた独創的な絵に後から谷川さんが言葉をつける、という趣旨だったので、大変だったがとても楽しい作業だった、とのお話も聞くことができました。



「ぼばーべびぱっぷ」

後半は、事前に会場の皆さんからいただいた質問に、時間の許す限り答えていただきました。

小さいお子さんからの、「わたしにも詩が書けますか？」という質問には、「詩は誰でも

も書くことはできるけど、それを仕事にすることは難しい。」と答えてくださり、「自分も自分で自分のことを『詩人』と呼ぶことは出来ない。他の人が詩人と呼ぶのは良いのだが。」とのお話には、仕事として詩を書くことの厳しさが感じられました。

谷川さんのデビュー作である「二十億光年の孤独」の一節をリクエストにこたえて谷川さんが朗読してくださり、トークショーは楽しく幕を閉じました。



谷川さん

☆ 3人の聞き手の1人、上元亜紀さんから一文を寄せていただきました。



詩の朗読

会場には、谷川さんの詩「みんな」と「きのみ」を題材に、子どもたちに自由な発想で言葉を考えてもらった「詩であそぼう！」のパネルも掲示しました。

このパネルや、谷川さんが書いてくださった色紙を、3月11日（水）から中央図書館2階展示コーナーに飾っています。

3月30日（月）まで展示していますので、ぜひ谷川さんの詩の世界にふれてみてください。



私が谷川俊太郎さんの作品と出会ったのは、小学生の時でした。学校で習ったときに、「いるかないかないかいるか」と、何度も何度も繰り返し口ずさんだのを覚えています。

息子が小学校に入ってから、谷川さんの作品にふれる機会が増えました。私が面白いと感じた詩を両親が知っていたように、私が懐かしいと感じる詩を息子が新しいと感じることに、改めて感動を覚えました。

トークショーで特に印象に残っているのは、五小の子どもたちの歌を聴き、自分の作った歌が長く受け継がれてきたことに対して、「嬉しいね。」とおっしゃったこと。そして、「歳をとったことで、これまでわからなかったこともわかるようになって楽しい。」とおっしゃったことです。

私のばかげた質問に対しても真剣にお話される姿には、ユーモラスである以上に谷川さんの真面目なお人柄が見えました。直にお話ができて、本当にうれしく、とても楽しかったです。このような機会をいただき、本当にありがとうございました。

☆ 来場者アンケートに寄せられた感想の一部をご紹介します。

- 谷川さんのお話の中で、心にとめておきたくなる言葉がたくさんあって、心が豊かになりました。
- 自然体の谷川さんは、本当に素敵な方でした。
- 文学の話だけではなく、色々な話を聞かせていただいて、面白かったです。
- 谷川俊太郎さんの詩を読もうと思いました。
- 谷川さんの人柄がよく分かるトークショーで、非常に楽しめました。
- 意外なお話が沢山聞けて楽しい2時間でした。
- 谷川さんの人柄を上手に引き出して進められていたと思いました。
- 手作り感が面白かった。
- 朗読もあり、ユーモアたっぷりのお話もいっぱいあって、大満足です。

東大和市立第五小学校校歌

作詞 谷川俊太郎

作曲 林光

きょうしつの まどのむこうに
わたしたちの うちがみえる
わたしたちの うちをのせて
ゆうゆうと ちきゅうはまわる
めをみはり おおきなゆめをみよう
あたらしい ほんをひらくと
わたしたちの ころがみえる
わたしたちの ころこえて
にんげんの れきしがつづく
みみすまし ひそかなこえをきこう
ともだちと こえをあわせて
わたしたちは うたをうたう
わたしたちの うたをのせて
さわやかに かぜはわたる

発行：平成27年3月特集号(通巻21号)

東大和市立中央図書館 Tel.042-564-2454

桜が丘図書館 Tel.042-567-2231

清原図書館 Tel.042-564-2944